

こうほう 絆 第6号 きずな

~大道理ならではの 豊かな暮らしの実現~



<編集・発行>大道理をよくする会広報部 <問い合わせ>大道理をよくする会 88-1800 (大道理公民館)



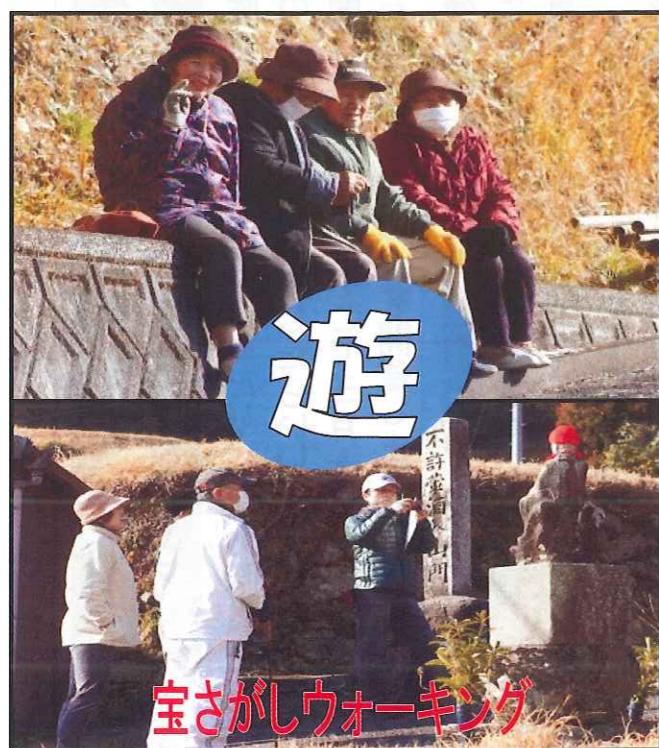
笑

新春寄席



憩

サロン



遊

宝さがしウォーキング



集

新年会&還暦・新成人を祝う集い

地域によせて
昔は上からのお願いでの活動が多かったように思いますが、最近では、皆さんの自主的な活動がずばらしいです。
地域の皆様に多大なるご芳情を頂いたことに感謝すると共に厚く御礼申し上げます。



公民館主事として昭和三十四年から四十年余り携わり、よくする会の結成や郷土史の発行、資料館の建設、手踊りの復活等が印象に残っています。


中村行雄さん
ありがとうございます お元気で！
長年にわたり地域のためにご尽力された中村さんが、龍豊寺の住職を辞されると共に、須々万へ引越されまます。大道理で過ごされた思い出をお聞きしました。

これからの行事予定

日時	内容
4月19日(金)	よくする会総会及び中村行雄さん・中村智さんの歓送迎会 場所：公民館
4月15日~30日	第3回芝桜まつり 場所：鹿野地地区
毎月第4水曜	おさそいサロン 場所：小学校
6月7日(金) 8日(土)	ほたる観賞の夕べ 場所：公民館

《里の案内人だより》

視察の受入 「どこも悩みは同じ」
大道理での里の案内人の活動が、テレビや雑誌等に取り上げられたからか、最近視察に来られることが多くなりました。
市内大津島地区から二十数名、宇部市厚東地区から行政関係者が八名、また山口市仁保地区からは自治会や婦人会関係の方四十名。大道理に限らず、空き家対策は、どこの地区も悩みを抱えているということなのでしょう。
大道理では、河内と新畑、日野地区に定住されています。地域に溶け込んでもらえるよう、気を配っていきたいと思います。



編集後記

定年したら、何か趣味を持たなければ：好きなパチンコばかりでは能がないと思いい、退職記念に買ったカメラで、練習かたがた大道理の風景や行事の写真を撮ることを楽しみの一つにしました。趣味で撮った写真を広報紙に載せてもらうことができ、充実した日々を過ごしていきます。
今後は、記録写真だけでなく、視点を変えて「こんなものが大道理にあったのか」と思える様なものに取組み、一枚でも多くの写真を採用させていただきます。

大道理の人口

(H25.2月末現在)

男性	182人
女性	227人
総人口	409人
世帯数	185世帯
高齢化率	49.4%
	(65歳以上)

4月1日 いよいよ大道理にやってくる！

地域おこし協力隊員

中村さんってどんな人かなあ？



プロフィール

- ◆ 名前 中村 智 (さとし)
- ◆ 年齢 28 歳
- ◆ 出身 京都生まれ 京都育ち
- ◆ 家族 奥様と子供さん(6ヶ月)
- ◆ 趣味 バイク(日本各地を走破！)
- ◆ 住む所 横川地区
- ◆ 勤務場所 向道支所・大道理公民館内
- ◆ 勤務日数 月 17 日(休日は不定期)

▼ 地域おこし協力隊員って何をする人？

大道理のために働きたい！という意欲ある若者です。大道理で暮らしながら、地域のみなさんや市と一緒に「地域を元気にする」ために頑張ってくれる人です。
※支所や公民館の仕事をする職員ではありません。

主に、次の活動を行います。

- 地域の行事や各団体の活動を支援します。(奉仕作業、ホタルまつりなど…)
- 地域が困っていることを改善する活動をします。(便利屋事業の支援など…)
- 地域を元気にする活動をします。(高齢者サロンの支援、情報の発信、移住・交流活動の支援など)

▼ 地域のみなさんへのお願い！

- 地域の行事や活動がある時は、声を掛けてください。
- 隊員に色々なことを教えてあげてください。

隊員にとって地域のみなさんと一緒に活動することが、地域や人を知るチャンスです。まずは、地域に溶け込む、暮らしに慣れることから活動が始まります。地域のみなさんの負担が減ったり、新しいメンバーが加わることで楽しい活動になると思いますので、隊員に気軽に声を掛けてあげてください。



小学校を地域の拠点に！

小学校利活用先進地視察研修
高知県に行ってきました！



そば打ち体験



畳敷きの教室

今年度、小学校を地域の拠点として整備するため、役員会や団体長会議などで協議を重ねてきました。意見をまとめる参考にするため、二月五日～六日、廃校になった小学校を活用している高知県本山町汗見川地区と、活用を計画している土佐町石原地区へ視察に行きました。両地区は、四国山地の中央、吉野川の上流に位置し、深い森と清らかな水、暖かい人情が魅力です。



山菜の握りずし



灯油宅配のローリー車

汗見川地区は、小学校をそば打ちなどの体験ができる宿泊施設として活用し、体験型教育旅行等多くの旅行者を受け入れています。施設見学の後、地元おばあちゃん先生の指導で、そば打ちを体験し、夕食では手作りのさわち料理と山菜握りずしを味わい、まさに五感で感じた一日でした。石原地区では、小学校の活用はこれからでしたが、高齢者のために地域でガソリンスタンドを運営するなど、これからの活動の参考になることが沢山ありました。

大道理をよくする会研修会

「協力隊員と二人三脚で進める地域づくり」

協力隊員さんを迎えるに当たり、「協力隊員って何をやるの？」「どうやって接したらいいの？」など、色々な声が聞こえてきます。そこで三月十日、協力隊員経験者のお話を聞く研修会を開催しました。

皆田 潔さん (協力隊員経験者)

あくまで住民がプレイヤー(主役)、協力隊員はマネージャー(補佐)。「地域づくりは何をしたいか」という思いを協力隊員と共有してほしい。

協力隊員の中村さんには、「よそ者の視点」から気づく事や出来る事がある。既存の人間関係に左右されない立場を生かして、地域のまとめ役、更に情報発信を期待したい。

大友翔太さん (大津島おこし隊員 活動中)

地域に慣れ、家、地域の人の顔と名前を覚えることに一年かかった。仕事とプライベートの区別がなく、ストレスもあった。二年目の任期が過ぎ、地域の人々に必要とされることが嬉しく、感謝の隊員に対して、とにかく声をかけ、暖かく寄り添ってもらい、信頼関係を大切にしてほしい。

